

川島町水道事業の沿革

昭和37年 水道給水開始（平沼浄水場設置）

昭和48年 第1期拡張工事竣工（吹塚浄水場設置）

昭和58年 第2期拡張工事竣工（水道庁舎建築 吹塚浄水場設備増設 八幡団地配水管布設）

昭和61年 第3期拡張工事竣工（吹塚浄水場へ県水導入 芝沼配水機場設置 浄水場設備増設）

平成12年 第4期拡張工事竣工（浄水場設備増設）

〈平成17年 川島インター産業団地建設開始〉

平成20年 「水道事業経営及び財政収支の計画」作成（22年度から経営状況厳しくなる見通し出る）

平成21年 平沼浄水場に配水池増設し県水導入（産業団地水需要に対応するため）
水道事業審議会開催 水道料金見直しについて検討

〈平成21年3月 川島インター産業団地進出企業1社操業開始〉

平成22年 水道事業審議会「最低限の料金改定はやむを得ない」との答申
産業団地操業による水道事業経営への影響をみるまで料金改定保留とする

平成23年 平成22年度決算において欠損金繰越（以降23、24年度決算でも欠損金繰越）

〈平成25年7月 川島インター産業団地進出企業10社操業 2社建設中 6社未建設〉

現在の川島町水道事業の状況（平成25年3月31日現在）※平成24年度決算書より抜粋

○給水人口 21,666人 ※行政区域内人口の99.93%

○施設状況 浄水場 2箇所（平沼、吹塚浄水場） 配水機場 1箇所（芝沼配水機場）

○配水管延長 148.60km

○1日の配水量 8,780^m（浄水場及び配水機場から送水する量）

○1日の給水量 8,111^m（水道使用者のメーター検針の合計）

○有収率 92.38%（給水量÷配水量）

○供給単価 142.00円（給水収益＝水道料金等の合計を給水量で割った額）

○給水原価 164.71円（水道水を浄水場で作くり、使用者まで送るのにかかる費用を給水量で割った額）

○平成24年度決算未処理欠損金

74,370,042円